

問1 社会生活において意見の対立を調整し、合意を形成しようとする際、重要となる考え方が「効率」と「公正」です。このうち「公正」の観点に基づいた説明として、最も適切なものを次の中から選びなさい。 (2023年 三重県公立入試 類似)

1. 特定の有力者の意見を優先し、組織全体の秩序を素早く維持すること。
2. 多数派の意見のみを反映させ、少数派の意見を検討の対象から外すこと。
3. 無駄を省き、できるだけ少ない時間や費用で結論を出すこと。
4. 判断の手続きが正しく行われ、不当に不利益を受ける人がいないようにすること。

問2 多文化共生社会の実現に向けた取り組みとして、アイヌの人々に関する施策を推進する法律が制定されました。この法律が目的としている内容の説明として、最も適切なものを次の中から選びなさい。 (2026年 鳥取県公立入試 類似)

1. アイヌの人々の生活習慣を廃止し、和人の文化に同化させることで社会統合を促す
2. アイヌ語を唯一の公用語と定め、学校教育における全ての授業をアイヌ語で行う
3. アイヌの人々の伝統文化の振興に加え、観光や産業などの地域振興を総合的に推進する
4. 北海道の国有林をすべてアイヌの人々の私有地として返還し、独自の経済圏を確立する

問3 インターネット上の情報の特性について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2024年 鹿児島県公立入試 類似)

1. 送信者の名前を伏せて発信できるため不確実な情報が含まれやすく、複製や加工、拡散が容易になされる。
2. 送信者の身元が常に保証されているため情報の信頼性は高く、外部からの複製や拡散は制限されている。
3. 発信された情報はプライバシー保護の観点から、他者による拡散や共有が自動的に禁止される仕組みになっている。
4. デジタル情報は発信後に他者が手を加えることが難しいため、情報の加工や改ざんは行われない。

問4 日本の人口問題について、フランスやスウェーデンなどの主要国と比較したとき、現在の日本の高齢者（65歳以上）の割合と、その割合が上昇する速さに関する特徴として正しいものはどれですか。 (2024年 長野県公立入試 類似)

1. 高齢者の割合が主要国の中では低いが、一定の割合まで上昇するのに要した期間は非常に短い
2. 高齢者の割合が主要国の中でも高いが、一定の割合まで上昇するのに要した期間は非常に長い
3. 高齢者の割合が主要国の中でも高く、さらに一定の割合まで上昇するのに要した期間が非常に短い
4. 高齢者の割合が主要国の中では低く、一定の割合まで上昇するのに要した期間も非常に長い

問5 日本の労働市場における男女の賃金格差について、年齢別の統計から読み取れる一般的な傾向として、最も適切なものはどれですか。20代前半から50代にかけての賃金の動きに着目して答えなさい。 (2022年 秋田県公立入試 類似)

1. 20代前半から50代にかけて、女性の賃金上昇幅が常に男性を上回り続けているため、高年齢層ほど女性の賃金が高くなる。
2. どの年齢層においても賃金の差はほぼ一定であり、入社から定年まで男女の賃金上昇のグラフは平行に推移する。
3. 20代前半では男女の格差は比較的小さいが、年齢が上がるにつれて男性の賃金上昇幅が女性を大きく上回り、格差が拡大する傾向にある。
4. 20代前半で最も格差が大きく、勤続年数が長くなる50代に向けて、男女の賃金差は徐々に解消され、ほぼ同等になる。

問6 非営利組織（NPO）の「非営利」という概念について、その仕組みを正しく説明しているものはどれですか。 (2019年 山口県公立入試 類似)

1. 活動にかかる費用をすべて寄付金でまかない、サービスの利用者からは一切の代金を受け取らないこと
2. 活動によって得られた利益を、役員や会員などで分配せず、次の社会貢献活動の資金に充てること
3. 国や地方公共団体からすべての運営資金の補助を受け、行政の代わりとして活動すること
4. 運営に携わるすべてのスタッフが無償のボランティアであり、給与を支払わないこと

問7 アメリカ合衆国、カナダ、メキシコの3カ国が参加し、経済的な結びつきを強めるために結ばれた自由貿易協定の略称として適切なものはどれですか。 (2018年 三重県公立入試 類似)

1. APEC
2. NAFTA
3. MERCOSUR
4. AU

問8 APEC（アジア太平洋経済協力会議）が果たしている役割や特徴として、最も適切なものはどれですか。 (2023年 栃木県公立入試 類似)

1. 加盟国間で共通の通貨を導入し、経済だけでなく政治的な統合も進めている。
2. 加盟国間の紛争を解決するために、国際的な裁判所を設置して強制的な決定を下す。
3. 域内の経済成長を促すため、貿易や投資の自由化について話し合う枠組みである。
4. 東南アジアの10か国のみで構成され、地域の平和と安定を主な目的としている。

問9 日本の年齢階級別における女性の労働力率は、かつて結婚や出産を機に離職する女性が多かったため、30歳代から40歳代にかけて数値が一時的に低下する特徴的な形が見られました。この現象の名称と、近年その形が変化している背景として最も適切な組み合わせを選びなさい。 (2026年 和歌山県公立入試 類似)

1. S字型推移と呼ばれ、高等教育への進学率が上昇したことで、若年層の労働力率が1980年代よりも大幅に低下したため。
2. M字型カーブと呼ばれ、保育施設の整備や育児休業制度の充実などによって、女性の仕事と育児の両立がしやすくなったため。
3. J字型変動と呼ばれ、専業主婦を支援する税制優遇措置が強化されたことで、子育てに専念した後にパートタイムで働く女性が増えたため。
4. U字型曲線と呼ばれ、定年退職の年齢が引き上げられたことにより、高齢層の女性が再就職して労働市場に戻るようになったため。

問10 夜間にその地域に住んでいる常住人口に対して、通勤や通学によって他の地域から流入する人々を含めた昼の人口の割合を「昼間人口比率」といいます。この比率が100を大きく超える地域の特徴として、最も適切な説明を選択してください。 (2017年 岡山県公立入試 類似)

1. オフィスや官公庁、学校などが集中しており、周辺地域から多くの人が入入している。
2. 大規模な住宅地が整備されており、都心部へ働きに出る人々の居住拠点となっている。
3. 少子高齢化の影響で若年層が減少し、夜間の常住人口そのものが極めて少ない。
4. 第一次産業が盛んな地域であり、昼夜を問わず人口の移動がほとんど見られない。

問11 公共施設や公園の看板には、禁止事項や設置されている設備の内容を一目で理解させるための図記号が多用されています。このように、文字による詳細な説明ではなく視覚記号を用いた情報伝達が行われる目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2026年 秋田県公立入試 類似)

1. 言語の壁や年齢に関わらず、情報を正確かつ迅速に伝えるため
2. 特定の地域の住民だけが内容を理解できるように制限するため
3. 景観を損なわないよう、看板の設置面積を最小限に抑えるため
4. 目的地までの詳細な経路や周辺の歴史を文章で記録するため

問12 人権の歴史を整理した資料において、19世紀の経済発展の裏側で発生した労働問題について、「労働者は低い（X）のもとで長い（Y）働かされた」と記述される場合があります。空欄にあてはまる語句の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2022年 福島県公立入試 類似)

1. X：身分、Y：距離
2. X：賃金、Y：時間
3. X：年齢、Y：期間
4. X：税金、Y：休暇

答え合わせ・解説

問1	答え 4 判断の手続きが正しく行われ、不当に不利益を受ける人がいないようにすること。	社会生活における「公正」とは、対立を解消する際の手続きが公平であるか、また、得られた結論が特定の人々に不当な不利益を与えていないかという視点を指します。全員が納得できる解決策を導き出すためには、単に早く決める（効率）だけでなく、この公正の視点が不可欠です。
問2	答え 3 アイヌの人々の伝統文化の振興に加え、観光や産業などの地域振興を総合的に推進する	この法律は、アイヌの人々の伝統や文化を継承・発展させるだけでなく、それを活用した観光振興や地域・産業の活性化を支援するための交付金制度などを設けています。これにより、アイヌの人々が差別されることなく、その誇りが尊重される社会を築き、多文化共生を実質的に進めることを目的としています。明治時代の同化政策とは対極にある、多様性を認めるための制度です。
問3	答え 1 送信者の名前を伏せて発信できるため不確実な情報が含まれやすく、複製や加工、拡散が容易になされる。	インターネット上のデジタル情報は、匿名性が高く、誰でも容易に発信できるため、その内容が必ずしも正確であるとは限らない不確実性を伴います。また、一度発信された情報はデジタルの特性上、コピー（複製）や編集（加工）が容易であり、SNSなどを通じて瞬時に広まる（拡散）という性質を持っています。そのため、情報の取扱いにはメディアリテラシーが求められます。
問4	答え 3 高齢者の割合が主要国の中でも高く、さらに一定の割合まで上昇するのに要した期間が非常に短い	日本は世界でも類を見ない速度で高齢化が進行している国です。1950年から2020年までの統計によると、1980年代以降、それまで日本より高齢者割合が高かったフランスやスウェーデンを急激な勢いで追い越し、主要国の中で最も高い水準に達しました。特に高齢者割合が15%から20%に達するまでの期間が他国に比べて極めて短く、社会保障制度の維持などが大きな課題となっています。
問5	答え 3 20代前半では男女の格差は比較的小さいが、年齢が上がるにつれて男性の賃金上昇幅が女性を大きく上回り、格差が拡大する傾向にある。	日本の賃金体系において、働き始めである20代前半の段階では男女間の賃金差はそれほど顕著ではありません。しかし、50歳代にかけて男性の賃金が勤続年数とともに大きく上昇するのに対し、女性の上昇幅は相対的に小さく留まるため、年齢が高くなるほどグラフ上の乖離が大きくなります。この背景には、管理職に占める女性の割合の低さや、非正規雇用で働く女性の割合が高いことなどの構造的な課題があります。
問6	答え 2 活動によって得られた利益を、役員や会員などで分配せず、次の社会貢献活動の資金に充てること	「非営利」とは、利益を出してはいけないという意味ではなく、「利益を構成員（役員や会員など）で分け合わない（配当しない）」という意味です。活動を通じて得た収益は、スタッフの給与などの経費を支払った後、さらに充実した活動を継続するための資金として再投資されます。これにより、市民が主体となった自由で柔軟な社会課題の解決が可能になります。
問7	答え 2 NAFTA	北米自由貿易協定を英語で略した名称です。カナダ、アメリカ合衆国、メキシコという北米大陸の主要国が、互いの関税をなくすことで貿易を盛んにすることを目指して設立されました。現在はUSMCAという新しい協定に引き継がれています。
問8	答え 3 域内の経済成長を促すため、貿易や投資の自由化について話し合う枠組みである。	APECは、アジア・太平洋地域の経済的なつながりを強め、自由な貿易を促進することで、地域の発展を目指す場です。欧州連合（EU）のような政治的な統合や共通通貨の導入、あるいはASEANのような東南アジアに特化した構成とは異なり、広範な国々が協力し合う性質を持っています。
問9	答え 2 M字型カーブと呼ばれ、保育施設の整備や育児休業制度の充実などによって、女性の仕事と育児の両立がしやすくなったため。	日本では、家事や育児の負担が女性に集中していた背景から、出産期にあたる30歳代前後の労働力率が落ち込む「M字型カーブ」が長年の課題でした。しかし、男女共同参画社会の推進や、育児休業制度などの社会制度が整い、仕事と育児の両立が以前より可能になったことで、この落ち込み（谷の部分）は浅くなり、全年齢層で労働力率が上昇する傾向にあります。
問10	答え 1 オフィスや官公庁、学校などが集中しており、周辺地域から多くの人が入入している。	昼間人口比率は「（昼間人口÷夜間人口）×100」の式で算出されます。都市部では企業の本社や行政機関、教育機関が集積しているため、昼間は周辺の郊外から多くの人々が通勤・通学で流入します。その結果、居住している常住人口（夜間人口）よりも昼間の滞在人口の方が多くなり、数値が100を上回ることになります。
問11	答え 1 言語の壁や年齢に関わらず、情報を正確かつ迅速に伝えるため	視覚的な情報を活用することで、文字を読み取ることが難しい幼児や、日本語に不慣れな外国人に対しても、共通の理解を促すことが可能になります。これはユニバーサルデザインの視点から、情報の受け手を選ばない「共生社会」を実現するための重要な工夫です。詳細な経路説明（トラップ）などは文字情報が適していますが、直感的な判断が求められる場では図記号が優れています。
問12	答え 2 X：賃金、Y：時間	19世紀の資本主義社会では、利益を最大化しようとする資本家のもとで、労働者は生活を維持するのが困難なほど安い給料（賃金）で、休息もままならないほど長い時間働かされるという劣悪な労働条件が一般化していました。これが現代の労働基準法などの土台となる、労働者保護の動きにつながりました。